

面談シート～育児中の研修編～

育児中の研修者を雇う・指導する人にとって、研修者のニーズや状況、思いを把握することは重要ですが、どこまで聞いて良いのだろうかと困惑することもあるかと思います。また、研修者にとっても、雇い主や指導者に、個人的なことを伝えるのはハードルが高いものです。

この面談シートは、研修者・雇用者の両者が、育児中の研修者の働き方について相談する際に、より具体的に、研修方法や働き方について会話するために作成されました。

全ての項目を埋めなくても、シートに記載のある項目を中心に継続的に会話することで、充実した研修生活を送る方法を、研修者と雇用者が一緒に考えていきましょう。

授乳以外の項目は性別に関わらず使えますので、育児中の男性研修者との面談にもご使用頂けます。

本シートは、未就学児を養育する研修者を想定しておりますが、「保育園」→「小学校、中学校、高校」などに変更すれば、育児中の研修者すべてに使うことができます。

子供の成長やパートナーの働き方、支援者の状況などにより、働き方の調整が必要になることも多くあります。一度の面談で終えず、定期的に話し合しましょう。

研修者記載シート

勤務時間	勤務可能時間： ～
	保育園の対応可能時間： ～
	迎えに遅延したときの対応：
当直	可・不可 月__回、__曜日であれば可能
オンコール	対応可・不可・日にち指定であれば可
搾乳・授乳の必要性	あり・なし
	授乳の場合：1日__回、時間帯_____
	搾乳の場合：1日__回、時間帯_____ 必要な設備（コンセント・冷蔵庫・冷凍庫）
子供の発熱時の対応	すぐに帰りたい・家族や支援者に連絡を取ってから決めたい・帰らなくて良い
特に力を入れたい研修・研修に期待すること	
職場で活躍できそうな場	
家での勉強時間の確保について	平日：
	休日：
仕事と育児の両立で不安なこと	

記入例

勤務時間	勤務可能時間：8:30～16:30
	保育園の対応可能時間：8:00～17:30
	迎えに遅延したときの対応：代わりがおらず遅延できない／夫or義母に依頼／ファミリーサポートに依頼
当直	可・不可 月1回、土or日曜日であれば可能(夫との調整のため2ヶ月前に決定希望)
オンコール	対応可・不可、日にち指定であれば可
搾乳・授乳の必要性	授乳あり・搾乳あり・なし
	授乳の場合：1日__回 時間帯__
	搾乳の場合：1日3回 時間帯 出勤直後・昼・帰宅前 必要な設備（コンセント・冷蔵庫・冷凍庫）
子供の発熱時の対応	すぐに帰りたい・家族や支援者に連絡を取ってから決めたい・帰らなくて良い
特に力を入れたい研修・研修に期待すること	継続外来で、慢性疾患の管理をきちんとできるようになりたい／小児の健診を自信をもってできるようになりたい／緩和ケアをできるようになりたい
職場で活躍できそうな場	後輩指導やメンター
家での勉強時間の確保について	平日：なし
	休日：夫が休みの日（月2回程度）は数時間協力してもらえるが、できれば子供との時間を優先したい
仕事と育児の両立で不安なこと	時間内に仕事が終わらなかったらどうしたら良いのか心配

雇用者・指導者記載シート

院内保育	あり・なし
病児保育	あり・なし ありの場合、即日入れるか否か：
授乳・搾乳について	いつ行って良いか どこでできるか（個室）
家事代行サービス・ベビーシッターへの補助制度	あり・なし
勤務時間内の勉強時間確保	可・不可
研修者に対して期待すること	
カンファレンス、回診、勉強会の日程・時間帯	
困った時の相談先	

記入例

院内保育	あり・なし
病児保育	あり・なし ありの場合、即日入れるか否か：一度受診が必要だが即日入れる
授乳・搾乳について	いつ行って良いか カンファレンス以外の時間 どこでできるか（個室） 会議室（鍵がかからないので、使用時は札をかける）
家事代行サービス・ベビーシッターへの補助制度	あり・なし
勤務時間内の勉強時間確保	可・不可 毎週金曜日午後
研修者に対して期待すること	研修で、一つでもスキルを自分のものにして欲しい。 体調第一で、困ったことがあれば早めに相談して欲しい。
カンファレンス、回診、勉強会の日程・時間帯	ミーティング：毎朝8:30～9:00 カンファレンス：毎週金曜日12:30～13:30 勉強会：毎週火曜日12:30～13:30
困った時の相談先	〇〇医師

※授乳のための時間について

法律的には、1歳未満児を育てている母において、1日30分×2回（まとめて1時間でも可）の育児時間取得が認められています。昼休みを含めると、法律的には1日3回確保することが可能です。就業規則も確認してみましょう。